

平成26年度



海部南部消防組合 消防職員技術発表会



日時 平成26年7月23日(水)

午前9時から

場所 海部南部消防組合訓練場



海部南部消防組合消防職員技術発表会次第

本部旗・署旗に敬礼

1 開会のことば

2 国旗掲揚

3 視閲者に敬礼

4 通常点検



指揮者 第1課長 加賀保
第1小隊長 北分署長 小椋正巳
第2小隊長 南出張所長 渡辺晴吾

5 救助訓練

救助隊長

木全貞能

救助副隊長

佐藤貴茂

ロープブリッジ渡過

栗冠 翔
横井大輝
水野洸太

ロープブリッジ救出

中西康晴
野口晃宏
桑原大地
上田和紀

障害突破

中山良太
幅 翔平
飯田大輔
伊藤康博
稲吉祐太



6 実践訓練

目的

東南海を震源とする地震により、倒壊した建物から発生した火災を効率的に消火対応するとともに、地震により各所で地盤沈下が発生し、堤防の決壊により、迅速な撤収避難を確立する。洪水発生後、取り残された住民を早期に安全な場所へ避難させることを目的とする。

想定

地震発生により倒壊した木造2階建て家屋から出火、消火活動中に堤防が決壊し洪水が襲来する。洪水襲来後、倒壊した家屋やビルの屋上に、数人の住民が避難できず取り残されている。



(休 憩)

7 車両の寄附及び感謝状贈呈

寄附目録及び鍵 贈呈

感謝状 贈呈



8 視閲者訓示

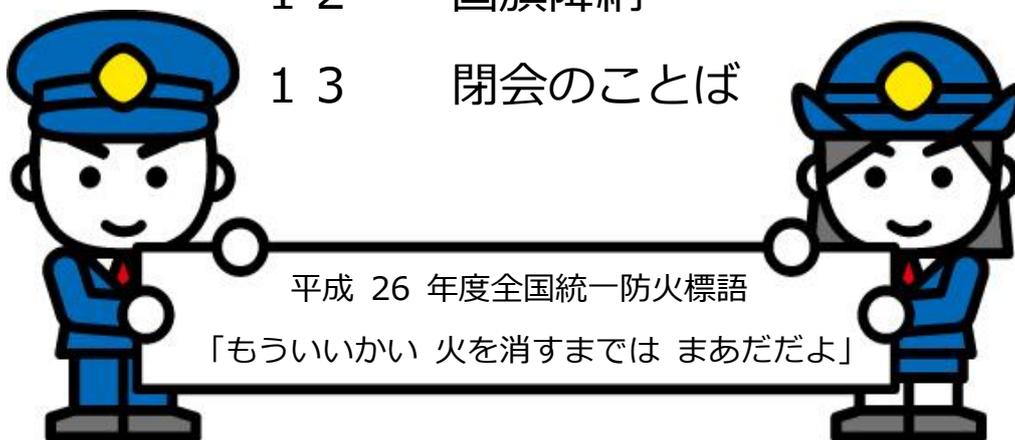
9 来賓あいさつ

1 0 火の用心三唱

1 1 視閲者に敬礼

1 2 国旗降納

1 3 閉会のことば



※ 発表会の途中において、非常事態が発生した場合には次第を変更します。

津波・大規模風水害対策車

東日本大震災の津波災害や各地で発生している大規模風水害において、冠水地域における効果的な人命救助活動をどうするかが課題となりました。

総務省消防庁は、東日本大震災において救助活動をした隊員の意見を踏まえ、水陸両用車等の救助資機材を積載し、津波や大規模風水害による冠水地域の人命救助活動に特化した特殊車両を全国に15台配備しました。

海部南部消防組合管内は、南海トラフ巨大地震などによる津波や大規模風水害の発生が危惧される地域であることなどを踏まえ、当組合にも配備されることとなりました。



過去5年間の出動件数

| | 火 災 | | | | | 救 急 | | | | | |
|------|-----|----|----|-----|----|------|-----|-----|-----|-----|------|
| | 建物 | 車両 | 船舶 | その他 | 計 | 急病 | 交通 | 一般 | 労災 | その他 | 計 |
| H21年 | 12 | 15 | 0 | 23 | 50 | 1282 | 297 | 254 | 71 | 260 | 2164 |
| H22年 | 12 | 7 | 1 | 14 | 34 | 1399 | 293 | 240 | 94 | 293 | 2319 |
| H23年 | 26 | 7 | 0 | 18 | 51 | 1255 | 319 | 213 | 181 | 401 | 2369 |
| H24年 | 10 | 4 | 0 | 13 | 27 | 1330 | 304 | 304 | 205 | 334 | 2419 |
| H25年 | 12 | 7 | 2 | 18 | 39 | 1309 | 333 | 249 | 193 | 341 | 2425 |